

## 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.02.17-02.28

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

2月17日(月)

食品包装フィルム、中国生産  
住友ベーク / 安心安全取り込み

住友ベークライトは、江蘇省南通市で食品包装フィルムの現地生産を6月に始める。鮮度保持のほか、開封しやすいといった機能性多層フィルム。食品の品質や安全への要求も高まっている。(10面)

2月18日(火)

最低賃金の上昇、穏やかに  
GDP減速とともに鈍化

中国の最低賃金の上昇率が2割から1割へと緩やかに伸びになっている。GDP成長率が10年の10%台から7%台へと減速する中、歩調を合わせるように賃金上昇のペースも鈍化している。(3面)

再生食用油でバイオ燃料

中国石油化工 / 当局から許可

中国石油化工(シノペック)幹部は、再生食用油を使ったバイオ燃料生産について、傘下のエンハイ・リファイニング・ケミカルが中国民用航空局から許可を取得したことを明らかにした。

(6面)

中国でセパレーター加工

三菱樹脂 / スマホ向け

三菱樹脂は、中国でリチウムイオンバッテリー(LIB)用セパレーターのスリット加工を現地化した。1週間かそれ以下の短納期ニーズに応える。電動工具やスマートフォン向け。(12面)



2月19日(水)

日本の輸出先、中国2位転落  
5年ぶり / 米国首位

2013年の日中貿易によると、輸出における中国のシェアが下がり、5年ぶりに米国に次いで2位になった。シェアは米国15.5%、中国18.1%と0.4%差。ジェトロ発表。(3面)

鶏卵選別包装システム増産  
ナベル / 中国で需要拡大に備え

ナベルは、本社工場の生産体制を強化する。中国での鶏卵選別包装システムの需要拡大に備え、生産能力と価格競争力を強化。隣接スペースに金属加工工場を増築。生産能力を1.3倍に。(9面)

中国・アジア向けUPS  
富士電機 / 電力供給の損失低減

富士電機は、中国・アジア市場向けに大容量無停電電源装置(UPS)を発売

した。変換効率は96.5%。同社の海外向け製品より2.5%向上、UPSを介しても少ない損失で電力供給。(13面)

2月20日(木)

ブジョー、中国資本受け入れ  
総額4200億円規模

仮ブジョー・シトロエン・グループは、18日の監査役会で、仮政府と中国・東風汽車集団が増資引き受けを通じて資本参加することを承認した。増資は総額30億円(約4200億円)規模。(時事=5面)

2月21日(金)

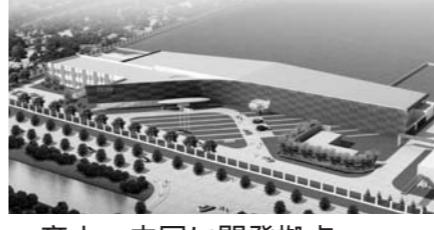
工場排水の汚染度、自動で測定  
東亜ディーケー / 中国に投入

東亜ディーケーは、中国で深刻になっている水質汚染対策として、工場排水の汚染度合いを測定する装置を投入した。工場排水中の六価クロムなどの重金属が基準値以下か確認できる。(7面)

耐熱樹脂、中国に新工場  
D I C / 車部品で攻勢

D I Cは、中国に耐熱樹脂ポリフェニレンサルファイトの製造拠点を新設する。HVの普及でエンジン周辺部品から電気部品などにも採用が拡大。日本とマレーシアなどに次ぐ拠点。(10面)

帝人の中国での開発拠点(完成予想図)



帝人、中国に開発拠点

スポーツウエア向けなど

帝人は、中国での研究開発を強化する。現地子会社である南通帝人の敷地内に開発拠点「帝人(中国)商品開発センター」が4月に稼働する。スポーツウエア向けの研究開発からスタート。(11面)

河村電器、D C構築参入  
現地で事業認可

河村電器産業は、中国でD Cの構築事業に参入する。このほど現地でD C構築事業の認可を取得。同社や協業会社のD C向け設備を取りまとめ、SIとして一括提案する。(9面)

2月24日(月)

自動車 - 中国の世界進出着々

東風 / ブジョーに出資

中国の東風汽車集団が、仮ブジョー・シトロエン・グループに資本参加する。200年以上の創業家経営が終わる。世界最大市場の中国メーカーの躍進を象徴。中国脅威論も広がる。(深層断面=28面)

耐熱樹脂、中国に新工場  
D I C / 車部品で攻勢

D I Cは、中国に耐熱樹脂ポリフェニレンサルファイトの製造拠点を新設する。HVの普及でエンジン周辺部品から電気部品などにも採用が拡大。日本とマレーシアなどに次ぐ拠点。(10面)

2月25日(火)

原子力・火力用バルブ技術供与  
中国・東南ア / 東亜バルブ

東亜バルブエンジニアリングは、中国と東南アジアで原子力・火力発電用のバルブ需要を掘り起こす。当局から原発用バルブの設計・製造納入事業者として認定。技術供与を増やす。(1面)

間仕切り・ドア、中国で増産  
コマニー / 2倍

コマニーは、江蘇省南京市で建設中の工場設備を当初計画より増強する。新工場は既存工場を移転し、間仕切りやドアの生産能力を金額ベースで1.5~2倍の40億円強に引き上げる。(17面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の  
次回は17日(月)に掲載します。の製造子会社を5月をめどに設立する。  
生産能力は年間500万個。アジア市場への供給拠点と位置づける。(5面)チリの製紙原料用チップを拡販  
中国に6万t / 三井物産  
三井物産は、チリの製紙原料用木材チップを拡販する。3月中旬に同社が出資する現地の木材チップ販売会社が中国の紙パルプメーカーのエイブルリードに6万tの木材チップを初出荷。(19面)

2月28日(金)

日揮、製造プロセス技術供与  
硫酸水素・水硫化ナトリウム

日揮は、中国で硫酸水素と水硫化ナトリウムの製造プロセス技術のライセンス事業を始める。自社開発したプロセス技術のライセンス契約を浙江省の浙江工設計と結んだ。(7面)

新興国向けTV、委託生産拡充  
パナソニック / 30t以上低価格機  
パナソニックは、再建中のテレビ事業の新興国向けモデルで、中国や台湾などのEMに委託するODMを年内にも拡充。東南アジア向けなどで30t以上の低機能機種にODMを広げる。(13面)クレハ、フッ素樹脂を中国生産  
現地企業に出資  
クレハは、中国のフッ素系樹脂の製造販売会社、内蒙古三愛富万豪フッ素化工に資本参加した。常熟市でリチウムイオンバッテリー材料などに使うフッ化ビニリデン樹脂を現地生産する。(15面)

## ASIA

2月17日(月)

経産省、印と標準化で連携強化  
技術協力 / 人材育成

経済産業省は、インド当局と標準化・認証分野の協力関係を具体化する。夏に初会合で調整する。インド側のニーズをくみ取りながら、技術協力や人材育成、標準規格の開発などで連携。(1面)

マレーシアでFLNG建設受注  
日揮 / 日本企業初

日揮が、マレーシアの国営石油会社ペトロナスから浮体式液化天然ガス設備(FLNG)の建設を受注した。日本企業初のFLNG受注。世界の資源開発は洋上が増えるとみられる。(7面)

FLNGの完成予想図(日揮)

スカパー、インドネシアに開局  
日本の番組24時間 / 現地語

スカパーJSATは、インドネシアで、日本の番組を24時間放送する専門チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局する。現地の有料放送最大手と連携。ドラマやアニメを現地語で。(8面)

東芝、インドに500億円投資  
社会インフラなど / 売上高7倍

東芝が、社会インフラを中心としたインド事業の戦略を公表。今後、5年間に500億円投資し、2017年度にグループ売上高で現況の約7倍の3000億円を目指す。社会インフラへの投資を加速。(8面)

大阪ガス、海外研修を拡充

東南ア・欧米 / 総合職に国際交渉力  
大阪ガスは、事業のグローバル化に向けて海外要員の拡充を始めた。東南アジアや欧米でエネルギー事業子会社などに総合職5人を毎年、半年・1年間派遣し国際ビジネスの経験を積ませる。(13面)

2月18日(火)

AMC、タイ金型工場が稼働  
超硬材 / 日系車部品向け

エイ・エム・シィは、タイのチョンブリ県に金型工場を完成、稼働した。タンクシステムやコバルトなどの超硬材料を用いた冷間鍛造用金型を生産。日系の自動車部品メーカー向け。(8面)

インド試薬工場が稼働  
堀場製作所 / 新興国で即納体制

堀場製作所は、インドに血液検査用試薬の生産工場を完成し、稼働した。年产能力2000t。フランスから空輸していた試薬を代替するとともに、今後の市場成長にも備えるのが狙い。(12面)

ハラル製品事業で商談会  
JTBコーポ / イスラム圏参入支援

JTBコーポレートセールスは、マレ

リヤ・エム・シィは、タイのチョンブリ県に金型工場を完成、稼働した。タンクシステムやコバルトなどの超硬材料を用いた冷間鍛造用金型を生産。日系の自動車部品メーカー向け。(8面)

ジッパー・テープ、東南ア拡販  
出光ユニテック

出光ユニテックは、東南アジアでジッパー・テープを拡販する。食料品などの包装容器需要が見込める上、海外の参入も遅れており、現地に製造販売体制を築き、シェア確保を図る。(14面)

ハラル製品事業で商談会  
JTBコーポ / イスラム圏参入支援

JTBコーポレートセールスは、マレ

リヤ・エム・シィは、タイのチョンブリ県に金型工場を完成、稼働した。タンクシステムやコバルトなどの超硬材料を用いた冷間鍛造用金型を生産。日系の自動車部品メーカー向け。(8面)

2月19日(水)

食品包装フィルム、中国生産  
住友ベーク / 安心安全取り込み

住友ベークライトは、江蘇省南通市で食品包装フィルムの現地生産を6月に始める。鮮度保持のほか、開封しやすいといった機能性多層フィルム。食品の品質や安全への要求も高まっている。(10面)

2月20日(木)

最低賃金の上昇、穏やかに  
GDP減速とともに鈍化

中国の最低賃金の上昇率が2割から1割へと緩やかに伸びになっている。GDP成長率が10年の10%台から7%台へと減速する中、歩調を合わせるように賃金上昇のペースも鈍化している。(3面)

再生食用油でバイオ燃料

中国石油化工 / 当局から許可

中国石油化工(シノペック)幹部は、再生食用油を使ったバイオ燃料生産について、傘下のエンハイ・リファイニング・ケミカルが中国民用航空局から許可を取得したことを明らかにした。

(6面)

中国でセパレーター加工

三菱樹脂 / スマホ向け

三菱樹脂は、中国でリチウムイオンバッテリー(LIB)用セパレーターのスリット加工を現地化した。1週間かそれ以下の短納期ニーズに応える。電動工具やスマートフォン向け。(12面)

2月21日(金)

経産省、印と標準化で連携強化  
技術協力 / 人材育成

経済産業省は、インド当局と標準化・認証分野の協力関係を具体化する。夏に初会合で調整する。インド側のニーズをくみ取りながら、技術協力や人材育成、標準規格の開発などで連携。(1面)

2月22日(土)

スカパー、インドネシアに開局  
日本の番組24時間 / 現地語

スカパーJSATは、インドネシアで、日本の番組を24時間放送する専門チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局する。現地の有料放送最大手と連携。ドラマやアニメを現地語で。(8面)

東芝、インドに500億円投資  
社会インフラなど / 売上高7倍

東芝が、社会インフラを中心としたインド事業の戦略を公表。今後、5年間に500億円投資し、2017年度にグループ売上高で現況の約7倍の3000億円を目指す。社会インフラへの投資を加速。(8面)

大阪ガス、海外研修を拡充

東南ア・欧米 / 総合職に国際交渉力

大阪ガスは、ミャンマーに現地法人を設立。経営層は、現地法人を設立した。東南アジアや欧米でエネルギー事業子会社などに総合職5人を毎年、半年・1年間派遣し国際ビジネスの経験を積ませる。(13面)

2月23日(月)

スカパー、インドネシアに開局  
日本の番組24時間 / 現地語

スカパーJSATは、インドネシアで、日本の番組を24時間放送する専門チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局する。現地の有料放送最大手と連携。ドラマやアニメを現地語で。(8面)

東芝、インドに500億円投資  
社会インフラなど / 売上高7倍

東芝が、社会インフラを中心としたインド事業の戦略を公表。今後、5年間に500億円投資し、2017年度にグループ売上高で現況の約7倍の3000億円を目指す。社会インフラへの投資を加速。(8面)

大阪ガス、海外研修を拡充

東南ア・欧米 / 総合職に国際交渉力

大阪ガスは、ミャンマーに現地法人を設立。経営層は、現地法人を設立した。東南アジアや欧米でエネルギー事業子会社などに総合職5人を毎年、半年・1年間派遣し国際ビジネスの経験を積ませる。(13面)